

# 総務経済常任委員会活動レポート

開催日：令和7年6月18日(水)

開催場所：1・2号委員会室

## ● 6月定例会提出議案審査

6月定例会提出の議案を審査し、担当部局から個別の案件ごとに説明を受け、質疑、協議、申し入れなどを行いました。

## 総務部

### 1. 定額減税調整給付金給付事業について

デフレ完全脱却のための総合経済対策により令和6年度に実施された住民税及び所得税の定額減税を補足する給付（調整給付金）に不足額が生じる場合に追加で給付を行う事業で、対象人数は2,250人、給付総額7,780万円（見込）との説明を受けました。

支給方法は、対象者へ送付される確認書の返送による支給と公金受取口座登録者へのお知らせ送付後、プッシュ式による支給となります。

#### 【主な質疑】

委員：岩谷学園等の留学生も対象になりますか？

担当：住民票がある方は対象になりますが、留学生は労働時間の制限があるため、令和6年度の減税で終了しています。

### 2. 町たばこ税道交付金について

令和6年度町たばこ税収入額により算出した結果、課税定額を超えることとなったため、北海道に対し1,574万2千円（見込）交付するとの説明がありました。

・（参考）令和5年度支出額 2,229万5千円、令和6年度支出額 2,058万5千円

### 3. 国勢調査員募集について

#### 【主な質疑】

委員：現在の応募人数は？

担当：100人募集し、現在53人の応募です。

委員：報酬額等具体的に周知しては？

担当：報酬等が分かるように周知します。

#### 4. 中標津町防災会議条例の一部を改正する条例制定について

国では、女性の視点に立った防災・復興の取り組みを促進するため防災基本計画を修正し、防災会議の委員に占める女性の割合を早期に15%とし、さらに30%を目指すとしていることから、本町においても委員の総数を20人以内から35人以内に改正し、新たに町内の団体等から女性委員の推薦を求めることの説明がありました。

### 経 済 部

#### 1. みどりの食料システム戦略緊急対策交付金事業について

本事業は、バイオガスプラントの建設検討等、環境負荷軽減の取り組みを進めることとしている一方、当地域での消化液の活用実績がほとんど無く、メリットを実感できない状況にあるため、消化液を散布することで嗜好性のよい粗飼料の確保と経営収支安定につながることを実証し、家畜由来ふん尿がバイオマス資源として再確認され、消化液活用農家が増加することを目的とするとの説明を受けました。北海道の補助金が町を経由して交付されるものです。

・事業費：557万7千円（町補助金：500万円、事業者負担額：57万7千円）

##### 【主な質疑】

委員：建設検討されているバイオガスプラントと同じ消化液を利用しますか？

担当：プラントの詳細は決まっていますが、同等の成分と見込まれます。

#### 2. 観光イベント補助金について

7月5日、6日開催の『NAKASHIBETSU FUN FES 2025』に、地域の魅力発信や交流関係人口の拡大につながる、これまでにない新たな観光資源となるイベントで、若者を中心として多数の集客を見込めることから、町として本事業を支援し、実行委員会に対し予算の範囲内で事業費の一部を補助（600万円）するとの説明がありました。

・財源：商工費寄附金（企業版ふるさと納税）収入額を限度として交付

##### 【主な質疑】

委員：観光協会が問い合わせの対応をしていますが、町も情報発信に協力しては？

担当：実行委員会、観光協会と先週金曜日（6/13）午前中に情報交換を行い、町からも情報発信してほしい旨の依頼があり、公式LINEを活用し実施します。